

何時までも子どもでない
二十九の声 藤田珠恵さん (島地)
私は、今日ここに立てる、
成人の日を迎ました。が、成人の
日とはどういう日でしょうか。そ
れは、大人になることを自覚し、
みすから生き抜こうとする青年を
励ます日だそうです。
今日を中心全国各地で、二千
人ほどが、この日を迎えた。そ
れは、たまたま成人式を
すませたというだけではなく大人
になることを、自覚せねばならな
いのです。では、大人になるとは
どういうことでしょうか。まず、

藤田珠恵さん

(島地)

成人者代表 木村 きんの答辭

成人式

晴着姿も少く

二十才になつたら

一生の間で、ことどものある期間が
あまりに長いと、抜けたてで「あ
ります」でも、理性にめざめると、「一
口に言つても大變むつかしいこと
で、昨日までと、変ったことをす
るのではなく、一步二歩、地に足
をつけ、進むべきだと思います。
いかなることにも、そう迺しても
もうこれからは、一個人の人間とし
て冷静に考へ、判断しなければな
りません。

明るい暮らしは、住宅改善から
住宅相談日開催 山口県住宅課
住宅新・改・増築政策資金の相談
1 日時 2月28日10時～4時
2 場所 中央公民館（堀）
3 午前中 住宅改善ポイント及び資
金の説明。午後は個別指導
4 希望者は、当日平面図を作製の上
個別指導して顶けます。

また、最近のようななまけものでは、いつどういふうがわからります。國圓年をとつたきだけではなで事故にあつた場合で金や母子年金、遺児年金などを支給して、みんなの将来の手続をしてくれます。



2月 11日 (土)
建國記念日



昭和42年度

保育所に
「はいられる」
子どもさんは
、ませんか。

保育所は、保育にかける子どもを、「あさかる」ところで、よじ理焼のなかですべての児童が心身ともに健やかに育つようにつとめ、入所された児童は、間違の生活の大半を、「自分で生活し、子どもは子どもの、なかで伸びびつ集団の生活を体験します。

したがって、保育と教育が「体となってはかな人間性をもつた子どもに育成するための基本的事項（保育所保育方針）」によって保育が行なわれています。

保育にかけるとは、養育者がいないか、いても不適当とかいろいろあります。



写真は、よい子のあさのひととき（1月23日堀保育所にて）

受付期間 2月10日から 2月28日まで
※ 場所 町民課又は各支所、各保育

- 一、あずかる、子どもさんは、乳児から就学までの方です。
 - 二、あずかることは、いつでも行ないますから事由が生じたとき申し出てください。(定員以上のときは、重い事由の方から、はいれるのです)
 - 三、定員、保育所60名から110名に、八坂全60名から80名に増員しました。
その他、上村全30名、邏内全30名、中全40名、島地全50名、花尾全50名
柚木全30名
 - 四、4月には、多数の保育児が小学校に入学するので2月10日から2月28日まで
新入児の申込みを受付けます
 - 五、保育料は、資産や所得によって決定します。
 - 六、受付は、役場町民課又は各支所、各保育所で行います。

入所児童の募集

特別買上げ

あくまで
対象となる人。

- ①、対象となる人。
- ◎生保保護法に規定する保護を受けている者
- ◎現に、保護を受けていないが著しく生活に困っている者で福祉事業所長が、保護を要する状態にあると認めた者。
- 二、買上保険料。
- 賃入賃料の年6歩級利割引した価格で、1人10万円以内。
- （例えは、給付金額、10万円の場合には、買上保険料、6万9千9百円）
- 三、手続については、経済課又は各支店で詳しくお聞き下さい。

二〇〇

せつかくの権利を失うことのないようにして下さい

昭和42年6月30日で時効になる

恩給、扶助料の

請求手続きを早目に

旧軍人軍属等の恩給は、昭和42年6月30日をもって恩給請求権の消滅時効が満了するものがある。下記に、略述した改正の経過を、おおまかに示す。これらの恩給扶助料のうち、昭和42年6月30日をもって恩給請求権の消滅時効が満了するものには、すぐに、役場等が改められたが、それ以後は、山口県内税務課が改められ、時効にならないよう請求手続きをとり、せっかくの権利を失うことのないように注意ください。

(不明な点は、
町民課公民係に
おたずねください。)

戦傷病者等の妻に対する 特別給付金の支給について

この特別給付金は、昭和12年7月7日以降に公務上負傷し、または、疾患にかかるたる方（昭和36年4月1日において恩給法の特別項目から第5項目まで該当する人）の妻に支給されます。

特別給付金は、10年以内に償還される国債で、その額は、10万円です。この特別給付金を受ける権利は、昭和41年4月1日より3年間でなくなります。

戦没者の遺族に支給される 特別弔慰金の支給範囲がひ ろがりました

この特別弔慰金は、昭和16年12月8日以降に死亡された戦没者の遺族であつて、昭和40年4月1日までに弔慰金を受け、同日現在、その遺族のだれもが、公務扶助料などを受けない場合に支給されます。

従来の、特別弔慰金は、戦没者の子と弔慰金を受けたことのある遺族に対してだけ支給されていましたが、このたび改正で特別弔慰金が受けられるようになる遺族は、これまでに弔慰金を受けた先頭位の遺族が、昭和40年3月31日までに死亡または遺族でなくなつたなどの場合に、つきの条件に該当すれば、父、母、孫、祖父母、兄弟姉妹の順位で受給できることになりました。

一、戦没者の死亡当時生年が同一であったかまたは生年維持因縁のあるもの。
二、遺族で、戦没者の死亡当時、称していた氏と、昭和40年4月1日現在同じ氏を称していること。

三、改正による特別弔慰金は、昭和44年6月末日までに請求しないと、時効により受給できなくなります。

災難は、いつくるかわかりません。万一事故があつたときに、これらの保険のしくみや内容を知らないために、当然受けられる給付をうけなかつたりするようなことがあります。これは、この保険の制度の意味をなくすることになり、本人にとっても大きな損失です。そこで学習を果たす人は、これらの制度をよく認識して新たな門出をしていただきたいのです。

この制度は、国民年金を除いては、その就職した会社などが加入するといい、手続をすることになります。

これが、その就職した会社などが加入するといふと、保険金を出すと、学生は今まで家族の一員、つまり被扶養者として社会保険に入らなければなりません。このよ

うなとき、「くらしの保険」をし

魚に腹をくらませておられる

とでしょう。しかし、方ではこれ

安も感じているにちがいありません。

これから長い将来では、い

つなんど病気やけがなどの不幸

が訪れるかもしれません。このよ

うなとき、「くらしの保険」をし

魚に腹をくらませておられる

とでしょう。しかし、方ではこれ

安も感じているにちがいありません。

学生は今まで家族の一員、つ

まり被扶養者として社会保険に入

らなければなりません。このよ

うなとき、「くらしの保険」をし

魚に腹をくらませておられる

とでしょう。しかし、方ではこれ

安も感じているにちがいありません。

これから長い将来では、い

つなんど病気やけがなどの不幸

が訪れるかもしれません。このよ

うなとき、「くらしの保険」をし

魚に腹をくらませておられる

とでしょう。しかし、方ではこれ

安も感じているにちがいありません。

就職と社会保険

耕土培養事業を進めよう

徳農業普及所

米づくり

徳地町米づくり近代化推進協議会では、今年度の米づくり重点実行項目に耕土培養事業をとりいれ実施することになりました。

耕土培養事業が、徳地町で初めて行なわれたのは、昭和32年度でその後毎年わずかながら行なわれていますが、早く行なわれたところは効果がうすぐれて、また秋落しやすい水田にならうとしており、また最近行なわれたとしても一部の地区で行なわれたものであり町全体の米の収量を飛躍的にあげるには、この畠の畠が全農家でとりあげられてこそ、その目的が達成されるものと思われます。

耕土培養の方法には、土耕等いろいろの方法がありますが、農家の方々の手がありかからぬで効果がもつとも高い方法として「合鐵資材」の投入をとりいれる訳です。「合鐵資材」を施用すると増収することはご存知のとおりですが、水田中の鉄は水田中に酸素が不足しますと鉄が水中にとけてきて水とともに深上に移行して、耕土中に鉄分の不足を生ずるため、稻の根は鉄の保護を受けなくなり、有毒ガスにおかれて根ぐさりを起し栄養の吸収機能が悪くなつて栄養供給が現われて落ちるのです。さらにマンガン、カリ、リチウム、石炭灰等が耕土中からぬけて微量元素の乏しさが起り、モチ病、ゴマハガレ病にかかりやすい稻になり収穫の主要な原因となるのです。「合鐵資材」の施用量は、10アール当たり500kg～1,000kgで初年度で1,000kgまでは、多く施用する程効果があります、すでにお知らせしていますが施用しない水田に比較すると1,000kg施用したものでは30%の増収効果をあげております、全く同じ条件で3割もの収量がふえるのですから驚くべき効果と言えます。

この資材は、施用してから3～5年はその効果が持続いたします。秋落しやすいところでは初年度で500kg、施用したものは次年度にまた500kg施用することをお勧めします。この事業を行なえば農業改良資金が無利子で借られますので、購入申し込みのすまない方は、早速部落推進組合長に申し込んでください。

火災予防 ポスター、作文 入賞者発表

火災は、年々増加しており、しかも不注意による火災が、その大半を占めている。現在、本部では、危険物安全検査と其検査を行い、約350点の応募作品のうちから次の入賞者を決定した（徳地開拓係は、次のとおり）

火災予防ボスター
小学校の部
小学5年　吉松和重
小学6年　大島章
小学7年　原雅人
小学8年　小田泰彦
小学9年　吉松和重
小学10年　井井圭一
小学11年　大島章
小学12年　原雅人
小学13年　吉松和重
小学14年　大島章
小学15年　原雅人
小学16年　吉松和重
小学17年　大島章
小学18年　原雅人
小学19年　吉松和重
小学20年　大島章
小学21年　原雅人
小学22年　吉松和重
小学23年　大島章
小学24年　原雅人
小学25年　吉松和重
小学26年　大島章
小学27年　原雅人
小学28年　吉松和重
小学29年　大島章
小学30年　原雅人
小学31年　吉松和重
小学32年　大島章
小学33年　原雅人
小学34年　吉松和重
小学35年　大島章
小学36年　原雅人
小学37年　吉松和重
小学38年　大島章
小学39年　原雅人
小学40年　吉松和重
小学41年　大島章
小学42年　原雅人
小学43年　吉松和重
小学44年　大島章
小学45年　原雅人
小学46年　吉松和重
小学47年　大島章
小学48年　原雅人
小学49年　吉松和重
小学50年　大島章
小学51年　原雅人
小学52年　吉松和重
小学53年　大島章
小学54年　原雅人
小学55年　吉松和重
小学56年　大島章
小学57年　原雅人
小学58年　吉松和重
小学59年　大島章
小学60年　原雅人
小学61年　吉松和重
小学62年　大島章
小学63年　原雅人
小学64年　吉松和重
小学65年　大島章
小学66年　原雅人
小学67年　吉松和重
小学68年　大島章
小学69年　原雅人
小学70年　吉松和重
小学71年　大島章
小学72年　原雅人
小学73年　吉松和重
小学74年　大島章
小学75年　原雅人
小学76年　吉松和重
小学77年　大島章
小学78年　原雅人
小学79年　吉松和重
小学80年　大島章
小学81年　原雅人
小学82年　吉松和重
小学83年　大島章
小学84年　原雅人
小学85年　吉松和重
小学86年　大島章
小学87年　原雅人
小学88年　吉松和重
小学89年　大島章
小学90年　原雅人
小学91年　吉松和重
小学92年　大島章
小学93年　原雅人
小学94年　吉松和重
小学95年　大島章
小学96年　原雅人
小学97年　吉松和重
小学98年　大島章
小学99年　原雅人
小学100年　吉松和重
小学101年　大島章
小学102年　原雅人
小学103年　吉松和重
小学104年　大島章
小学105年　原雅人
小学106年　吉松和重
小学107年　大島章
小学108年　原雅人
小学109年　吉松和重
小学110年　大島章
小学111年　原雅人
小学112年　吉松和重
小学113年　大島章
小学114年　原雅人
小学115年　吉松和重
小学116年　大島章
小学117年　原雅人
小学118年　吉松和重
小学119年　大島章
小学120年　原雅人
小学121年　吉松和重
小学122年　大島章
小学123年　原雅人
小学124年　吉松和重
小学125年　大島章
小学126年　原雅人
小学127年　吉松和重
小学128年　大島章
小学129年　原雅人
小学130年　吉松和重
小学131年　大島章
小学132年　原雅人
小学133年　吉松和重
小学134年　大島章
小学135年　原雅人
小学136年　吉松和重
小学137年　大島章
小学138年　原雅人
小学139年　吉松和重
小学140年　大島章
小学141年　原雅人
小学142年　吉松和重
小学143年　大島章
小学144年　原雅人
小学145年　吉松和重
小学146年　大島章
小学147年　原雅人
小学148年　吉松和重
小学149年　大島章
小学150年　原雅人
小学151年　吉松和重
小学152年　大島章
小学153年　原雅人
小学154年　吉松和重
小学155年　大島章
小学156年　原雅人
小学157年　吉松和重
小学158年　大島章
小学159年　原雅人
小学160年　吉松和重
小学161年　大島章
小学162年　原雅人
小学163年　吉松和重
小学164年　大島章
小学165年　原雅人
小学166年　吉松和重
小学167年　大島章
小学168年　原雅人
小学169年　吉松和重
小学170年　大島章
小学171年　原雅人
小学172年　吉松和重
小学173年　大島章
小学174年　原雅人
小学175年　吉松和重
小学176年　大島章
小学177年　原雅人
小学178年　吉松和重
小学179年　大島章
小学180年　原雅人
小学181年　吉松和重
小学182年　大島章
小学183年　原雅人
小学184年　吉松和重
小学185年　大島章
小学186年　原雅人
小学187年　吉松和重
小学188年　大島章
小学189年　原雅人
小学190年　吉松和重
小学191年　大島章
小学192年　原雅人
小学193年　吉松和重
小学194年　大島章
小学195年　原雅人
小学196年　吉松和重
小学197年　大島章
小学198年　原雅人
小学199年　吉松和重
小学200年　大島章
小学201年　原雅人
小学202年　吉松和重
小学203年　大島章
小学204年　原雅人
小学205年　吉松和重
小学206年　大島章
小学207年　原雅人
小学208年　吉松和重
小学209年　大島章
小学210年　原雅人
小学211年　吉松和重
小学212年　大島章
小学213年　原雅人
小学214年　吉松和重
小学215年　大島章
小学216年　原雅人
小学217年　吉松和重
小学218年　大島章
小学219年　原雅人
小学220年　吉松和重
小学221年　大島章
小学222年　原雅人
小学223年　吉松和重
小学224年　大島章
小学225年　原雅人
小学226年　吉松和重
小学227年　大島章
小学228年　原雅人
小学229年　吉松和重
小学230年　大島章
小学231年　原雅人
小学232年　吉松和重
小学233年　大島章
小学234年　原雅人
小学235年　吉松和重
小学236年　大島章
小学237年　原雅人
小学238年　吉松和重
小学239年　大島章
小学240年　原雅人
小学241年　吉松和重
小学242年　大島章
小学243年　原雅人
小学244年　吉松和重
小学245年　大島章
小学246年　原雅人
小学247年　吉松和重
小学248年　大島章
小学249年　原雅人
小学250年　吉松和重
小学251年　大島章
小学252年　原雅人
小学253年　吉松和重
小学254年　大島章
小学255年　原雅人
小学256年　吉松和重
小学257年　大島章
小学258年　原雅人
小学259年　吉松和重
小学260年　大島章
小学261年　原雅人
小学262年　吉松和重
小学263年　大島章
小学264年　原雅人
小学265年　吉松和重
小学266年　大島章
小学267年　原雅人
小学268年　吉松和重
小学269年　大島章
小学270年　原雅人
小学271年　吉松和重
小学272年　大島章
小学273年　原雅人
小学274年　吉松和重
小学275年　大島章
小学276年　原雅人
小学277年　吉松和重
小学278年　大島章
小学279年　原雅人
小学280年　吉松和重
小学281年　大島章
小学282年　原雅人
小学283年　吉松和重
小学284年　大島章
小学285年　原雅人
小学286年　吉松和重
小学287年　大島章
小学288年　原雅人
小学289年　吉松和重
小学290年　大島章
小学291年　原雅人
小学292年　吉松和重
小学293年　大島章
小学294年　原雅人
小学295年　吉松和重
小学296年　大島章
小学297年　原雅人
小学298年　吉松和重
小学299年　大島章
小学300年　原雅人
小学301年　吉松和重
小学302年　大島章
小学303年　原雅人
小学304年　吉松和重
小学305年　大島章
小学306年　原雅人
小学307年　吉松和重
小学308年　大島章
小学309年　原雅人
小学310年　吉松和重
小学311年　大島章
小学312年　原雅人
小学313年　吉松和重
小学314年　大島章
小学315年　原雅人
小学316年　吉松和重
小学317年　大島章
小学318年　原雅人
小学319年　吉松和重
小学320年　大島章
小学321年　原雅人
小学322年　吉松和重
小学323年　大島章
小学324年　原雅人
小学325年　吉松和重
小学326年　大島章
小学327年　原雅人
小学328年　吉松和重
小学329年　大島章
小学330年　原雅人
小学331年　吉松和重
小学332年　大島章
小学333年　原雅人
小学334年　吉松和重
小学335年　大島章
小学336年　原雅人
小学337年　吉松和重
小学338年　大島章
小学339年　原雅人
小学340年　吉松和重
小学341年　大島章
小学342年　原雅人
小学343年　吉松和重
小学344年　大島章
小学345年　原雅人
小学346年　吉松和重
小学347年　大島章
小学348年　原雅人
小学349年　吉松和重
小学350年　大島章
小学351年　原雅人
小学352年　吉松和重
小学353年　大島章
小学354年　原雅人
小学355年　吉松和重
小学356年　大島章
小学357年　原雅人
小学358年　吉松和重
小学359年　大島章
小学360年　原雅人
小学361年　吉松和重
小学362年　大島章
小学363年　原雅人
小学364年　吉松和重
小学365年　大島章
小学366年　原雅人
小学367年　吉松和重
小学368年　大島章
小学369年　原雅人
小学370年　吉松和重
小学371年　大島章
小学372年　原雅人
小学373年　吉松和重
小学374年　大島章
小学375年　原雅人
小学376年　吉松和重
小学377年　大島章
小学378年　原雅人
小学379年　吉松和重
小学380年　大島章
小学381年　原雅人
小学382年　吉松和重
小学383年　大島章
小学384年　原雅人
小学385年　吉松和重
小学386年　大島章
小学387年　原雅人
小学388年　吉松和重
小学389年　大島章
小学390年　原雅人
小学391年　吉松和重
小学392年　大島章
小学393年　原雅人
小学394年　吉松和重
小学395年　大島章
小学396年　原雅人
小学397年　吉松和重
小学398年　大島章
小学399年　原雅人
小学400年　吉松和重
小学401年　大島章
小学402年　原雅人
小学403年　吉松和重
小学404年　大島章
小学405年　原雅人
小学406年　吉松和重
小学407年　大島章
小学408年　原雅人
小学409年　吉松和重
小学410年　大島章
小学411年　原雅人
小学412年　吉松和重
小学413年　大島章
小学414年　原雅人
小学415年　吉松和重
小学416年　大島章
小学417年　原雅人
小学418年　吉松和重
小学419年　大島章
小学420年　原雅人
小学421年　吉松和重
小学422年　大島章
小学423年　原雅人
小学424年　吉松和重
小学425年　大島章
小学426年　原雅人
小学427年　吉松和重
小学428年　大島章
小学429年　原雅人
小学430年　吉松和重
小学431年　大島章
小学432年　原雅人
小学433年　吉松和重
小学434年　大島章
小学435年　原雅人
小学436年　吉松和重
小学437年　大島章
小学438年　原雅人
小学439年　吉松和重
小学440年　大島章
小学441年　原雅人
小学442年　吉松和重
小学443年　大島章
小学444年　原雅人
小学445年　吉松和重
小学446年　大島章
小学447年　原雅人
小学448年　吉松和重
小学449年　大島章
小学450年　原雅人
小学451年　吉松和重
小学452年　大島章
小学453年　原雅人
小学454年　吉松和重
小学455年　大島章
小学456年　原雅人
小学457年　吉松和重
小学458年　大島章
小学459年　原雅人
小学460年　吉松和重
小学461年　大島章
小学462年　原雅人
小学463年　吉松和重
小学464年　大島章
小学465年　原雅人
小学466年　吉松和重
小学467年　大島章
小学468年　原雅人
小学469年　吉松和重
小学470年　大島章
小学471年　原雅人
小学472年　吉松和重
小学473年　大島章
小学474年　原雅人
小学475年　吉松和重
小学476年　大島章
小学477年　原雅人
小学478年　吉松和重
小学479年　大島章
小学480年　原雅人
小学481年　吉松和重
小学482年　大島章
小学483年　原雅人
小学484年　吉松和重
小学485年　大島章
小学486年　原雅人
小学487年　吉松和重
小学488年　大島章
小学489年　原雅人
小学490年　吉松和重
小学491年　大島章
小学492年　原雅人
小学493年　吉松和重
小学494年　大島章
小学495年　原雅人
小学496年　吉松和重
小学497年　大島章
小学498年　原雅人
小学499年　吉松和重
小学500年　大島章
小学501年　原雅人
小学502年　吉松和重
小学503年　大島章
小学504年　原雅人
小学505年　吉松和重
小学506年　大島章
小学507年　原雅人
小学508年　吉松和重
小学509年　大島章
小学510年　原雅人
小学511年　吉松和重
小学512年　大島章
小学513年　原雅人
小学514年　吉松和重
小学515年　大島章
小学516年　原雅人
小学517年　吉松和重
小学518年　大島章
小学519年　原雅人
小学520年　吉松和重
小学521年　大島章
小学522年　原雅人
小学523年　吉松和重
小学524年　大島章
小学525年　原雅人
小学526年　吉松和重
小学527年　大島章
小学528年　原雅人
小学529年　吉松和重
小学530年　大島章
小学531年　原雅人
小学532年　吉松和重
小学533年　大島章
小学534年　原雅人
小学535年　吉松和重
小学536年　大島章
小学537年　原雅人
小学538年　吉松和重
小学539年　大島章
小学540年　原雅人
小学541年　吉松和重
小学542年　大島章
小学543年　原雅人
小学544年　吉松和重
小学545年　大島章
小学546年　原雅人
小学547年　吉松和重
小学548年　大島章
小学549年　原雅人
小学550年　吉松和重
小学551年　大島章
小学552年　原雅人
小学553年　吉松和重
小学554年　大島章
小学555年　原雅人
小学556年　吉松和重
小学557年　大島章
小学558年　原雅人
小学559年　吉松和重
小学560年　大島章
小学561年　原雅人
小学562年　吉松和重
小学563年　大島章
小学564年　原雅人
小学565年　吉松和重
小学566年　大島章
小学567年　原雅人
小学568年　吉松和重
小学569年　大島章
小学570年　原雅人
小学571年　吉松和重
小学572年　大島章
小学573年　原雅人
小学574年　吉松和重
小学575年　大島章
小学576年　原雅人
小学577年　吉松和重
小学578年　大島章
小学579年　原雅人
小学580年　吉松和重
小学581年　大島章
小学582年　原雅人
小学583年　吉松和重
小学584年　大島章
小学585年　原雅人
小学586年　吉松和重
小学587年　大島章
小学588年　原雅人
小学589年　吉松和重
小学590年　大島章
小学591年　原雅人
小学592年　吉松和重
小学593年　大島章
小学594年　原雅人
小学595年　吉松和重
小学596年　大島章
小学597年　原雅人
小学598年　吉松和重
小学599年　大島章
小学600年　原雅人
小学601年　吉松和重
小学602年　大島章
小学603年　原雅人
小学604年　吉松和重
小学605年　大島章
小学606年　原雅人
小学607年　吉松和重
小学608年　大島章
小学609年　原雅人
小学610年　吉松和重
小学611年　大島章
小学612年　原雅人
小学613年　吉松和重
小学614年　大島章
小学615年　原雅人
小学616年　吉松和重
小学617年　大島章
小学618年　原雅人
小学619年　吉松和重
小学620年　大島章
小学621年　原雅人
小学622年　吉松和重
小学623年　大島章
小学624年　原雅人
小学625年　吉松和重
小学626年　大島章
小学627年　原雅人
小学628年　吉松和重
小学629年　大島章
小学630年　原雅人
小学631年　吉松和重
小学632年　大島章
小学633年　原雅人
小学634年　吉松和重
小学635年　大島章
小学636年　原雅人
小学637年　吉松和重
小学638年　大島章
小学639年　原雅人
小学640年　吉松和重
小学641年　大島章
小学642年　原雅人
小学643年　吉松和重
小学644年　大島章
小学645年　原雅人
小学646年　吉松和重
小学647年　大島章
小学648年　原雅人
小学649年　吉松和重
小学650年　大島章
小学651年　原雅人
小学652年　吉松和重
小学653年　大島章
小学654年　原雅人
小学655年　吉松和重
小学656年　大島章
小学657年　原雅人
小学658年　吉松和重
小学659年　大島章
小学660年　原雅人
小学661年　吉松和重
小学662年　大島章
小学663年　原雅人
小学664年　吉松和重
小学665年　大島章
小学666年　原雅人
小学667年　吉松和重
小学668年　大島章
小学669年　原雅人
小学670年　吉松和重
小学671年　大島章
小学672年　原雅人
小学673年　吉松和重
小学674年　大島章
小学675年　原雅人
小学676年　吉松和重
小学677年　大島章
小学678年　原雅人
小学679年　吉松和重
小学680年　大島章
小学681年　原雅人
小学682年　吉松和重
小学683年　大島章
小学684年　原雅人
小学685年　吉松和重
小学686年　大島章
小学687年　原雅人
小学688年　吉松和重
小学689年　大島章
小学690年　原雅人
小学691年　吉松和重
小学692年　大島章
小学693年　原雅人
小学694年　吉松和重
小学695年　大島章
小学696年　原雅人
小学697年　吉松和重
小学698年　大島章
小学699年　原雅人
小学700年　吉松和重
小学701年　大島章
小学702年　原雅人
小学703年　吉松和重
小学704年　大島章
小学705年　原雅人
小学706年　吉松和重
小学707年　大島章
小学708年　原雅人
小学709年　吉松和重
小学710年　大島章